

壁紙施工用接着剤の発熱性試験について

一般社団法人日本壁装協会

別紙のとおり、日本壁装協会では、平成23年7月、協会会員である認定取得者の意向に基づき接着剤の発熱性試験（コーンカロリメーター試験）を行った結果につき、防火材料の評価機関等（建築性能基準推進協会＝略称・性能協、評価機関等の団体）に報告をいたしました。その内容は同協会を通じて国土交通省にも報告されます。

この試験は、平成19年から発生した防火材料の認定仕様違反や性能不足等を契機に、その後も事例が相次いでいることなどへの対応として実施されました。国土交通省により各種の構造や防火材料、防火設備などの大臣認定品に対する調査が行なわれる過程で、壁紙の防火性能上重要な部分を占める接着剤につき、試験機関から発熱性確認の必要性の声が高まり、特に試験機関が試験体を製作するようになって以来（平成21年11月以降）、どの接着剤を使用して試験をするのかについて研究が求められました。

このため、平成22年より試験を開始し、約31点のでんぷん系接着剤、補強剤（1種1号に混入する樹脂接着剤）、シーラーについて発熱性試験を行い「もっとも不利な接着剤等」として発熱性試験による発熱量がもっとも高い製品が選択されました。現在既に評価（試験）機関では防火壁装材料の認定申請等の場合には当該接着剤（パラダイン8020＝試験用接着剤）とシーラー（パラダインシーラーセットアップ）により試験体が製作され、試験がなされております。

従って市場で使用されている接着剤等は、使用量の管理（固形分60g/m²以下）に加え、発熱性においてもパラダイン8020以下の製品が供給されているため、施工には問題なく使用できることになっております。

なお接着剤には多くのOEM品が販売されております。これらの性能確認は日本壁装協会が行っております。既に登録予定の接着剤も別表のとおりです。

これらの表をご確認の上、もしここに含まれていない接着剤を、防火施工管理ラベルを表示する現場で使用される場合は、当協会までご一報いただければ、対応を図ります。

今後同一覧表は協会ホームページ等で公開いたしますが、随時追加等がありえますので、最新の情報についてご確認いただくようお願いいたします。また防火壁装材料施工時にご確認いただくポイント等のみをまとめた「防火壁装材料の施工共通仕様」も併せて公開いたします。従来の標準施工法から防火認定に関わる部分のみ抜き出した内容となっております。以上

*本件に関するお問合せ先 E-mail : fire-safe@wacoa.jp